

# 令和4年度 第1回豊田市文化財保護審議会

日 時 令和4年5月24日(火)  
午後1時30分から  
場 所 市役所南庁舎 51会議室

## 次 第

1 生涯活躍部あいさつ

2 会長あいさつ

3 文化財課組織体制について 【資料1】

4 議 題

- (1) 令和3年度文化財課事業報告について 【資料2】
  - ・文化財施設利用状況事業報告 (別紙1)
- (2) 令和4年度文化財課事業計画について 【資料3】
  - ・博物館整備に関わる事業進捗の報告について (別紙2)
- (3) 「旭歌舞伎保存会」伝統的郷土芸能認定取消について 【資料4】
- (4) 令和3年度購入資料について 【資料5】

5 その他

豊田市文化財保護審議会委員名簿

任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日

番号	氏名	就任年月日	新任 再任	所属等
1	会長 田中 祥雄	平成 9 年 6 月 1 日	再任	豊田市史資料調査会会長
2	副会長 後藤 嘉寿美	平成 13 年 6 月 1 日	再任	文化財保存修復学会
3	阿部 和俊	令和 元年 6 月 1 日	再任	愛知教育大学名誉教授
4	岩田 敏也	平成 17 年 6 月 1 日	再任	東海工業専門学校講師
5	岡本 大三郎	平成 23 年 6 月 1 日	再任	東海民具学会会長
6	加藤 真司	平成 19 年 6 月 1 日	再任	中部産業遺産研究会
7	北村 和宏	平成 21 年 6 月 1 日	再任	豊田市史資料調査会事務局長
8	佐久間 章郎	平成 19 年 6 月 1 日	再任	AT21 倶楽部（足助地区）
9	永田 研	令和 元年 6 月 1 日	再任	市民公募
10	白鳳 明人	平成 29 年 6 月 1 日	再任	豊田市名木愛護会理事
11	水野 功	平成 19 年 6 月 1 日	再任	孝母祭保存会顧問
12	水野 半次郎	令和 元年 6 月 1 日	再任	（合）瀬戸本業窯 代表社員
13	山口 薫子	令和 元年 6 月 1 日	再任	市民公募
14	渡邊 健二	令和 3 年 6 月 1 日	新任	豊田市郷土史研究会 会長

（50音順）

◆文化財保護・活用事業

(1) 文化財等保存維持・修理補助

・有形文化財保存修理	4件	(小原川見薬師寺・隣松寺・中金岩倉神社農村舞台・足助八幡宮)
・有形民俗文化財保存修理	1件	(足助田町山車)
・史跡名勝天然記念物保存整備	2件	(稲武八幡神社スギヒノキ合体木・稲武大安寺シダレザクラ)
・有形民俗文化財保存維持	14件	(申請15件のうち取下げ1件)
・無形民俗文化財保存維持	21件	(申請26件のうち取下げ5件)
・伝統的郷土芸能保存維持	10件	(申請15件のうち取下げ1件)
・伝統的郷土芸能保存修理	4件	(足助田町お囃子会・霧山囃子保存会・拳母神楽保存会・石野歌舞伎保存会)
・郷土の先人顕彰活動	3件	
	総数	59件

(2) 指定文化財の指定解除

【市指定】

- ・川原宮謁磐神社本殿及び摂社八幡神社本殿（建造物）
- ※ 県指定に伴う市指定解除

(3) 史跡・名勝・天然記念物等の保護・活用

【工事・修理等】

- ・百々貯木場樋門スクリーン設置
- ・平井大塚古墳石碑移転
- ・旧龍性院庭園支障木伐採
- ・史跡松平氏遺跡大給城跡石垣修復及び支障木伐採
- ・不動古墳支障木伐採
- ・稲荷塚古墳支障木伐採
- ・杉本の貞観スギ樹勢調査（傾斜計測）
- ・丸根城址土地測量（寄付採納）

【その他】

- ・山中観音堂修理報告書刊行
- ・二ホンカモシカ滅失個体対応 80件  
令和2年度：51件／令和元年度：45件／平成30年度：31件

(4) 埋蔵文化財の調査・整理・活用

【本調査】1件（令和2年度：3件）

遺跡名	所在地	調査理由	調査面積(m <sup>2</sup> )	主な成果
伊保廃寺	保見町	学術調査	35	基壇
計			35	(令和2年度：950m <sup>2</sup> )

**【試掘・範囲確認調査】5件（令和2年度：12件）**

堂外戸遺跡・林遺跡・大野瀬町島崎遺跡等範囲確認調査（ほか）

**【工事立会調査】73件（令和2年度：77件）**

**【手続等】**

- ・埋蔵文化財の有無照会 575件（令和2年度：578件）
- ・発掘届出（93条・94条）102件（令和2年度：125件）

**【発掘調査報告書等刊行】**

- ・『塩狭間窯跡』第87集
- ・『寺部遺跡』第88集
- ・『伊保廃寺発掘調査報告書』
- ・『令和2年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書』

**【シンポジウム開催】**

公開シンポジウム 伊保谷からみた豊田市の古代

日時 令和4年3月13日（日）

主催：名古屋大学考古学研究室・豊田市

**◆郷土資料館事業**

**（1）民具整理・調査関係**

紙屋鈴木家旧蔵資料（令和3年7月寄贈分）資料整理：台帳作成・整理収納完了、  
報告書刊行準備中

棒の手会館収蔵庫内歌舞伎関係資料整理：台帳作成・整理収納完了

**（2）豊田市郷土資料館の展示・講座・入館者数**

- ・豊田市郷土資料館 令和3年度入館者数 10,550人  
（令和2年度入館者数 8,692人／令和元年度入館者数 10,608人）
- ・展覧会の入館者数
  - ・企画展「縄文ライフ！～SDGsの種を探しに～」(7/6～9/26) 3,413人
  - ・特別展「はじめてのとよた史—『新修豊田市史』通史編刊行記念—」  
(1/22～3/20) 1,762人

【参考：展覧会等入館者数の実績】

令和3年度：企画展1回（3,413人）＋特別展1回（1,762人）

令和2年度：企画展1回（4,236人）＋特別展1回（2,515人）  
＋特別公開1回（370人）＝7,121人

令和元年度：企画展2回（①2,246人＋②2,864人）＋特別展1回（2,554人）  
＋特別公開1回（162人）＝7,826人

- ・こども向け体験企画

長期休暇期間にあわせ3回（春：264人、夏：2,604人、冬：468人）

体験講座 まが玉づくり、川砂講座 合計140人

よろいを着てみよう 中止

**（3）文化財施設利用状況**

〔別紙1〕参照

#### (4) とよた歴史マイスター事業

豊田市域の歴史・文化財について学び、関心を持ち、伝える活動を行う人を「とよた歴史マイスター」として認定し、活動した。

- ・既認定者 70 人 ・活動参加者数 延べ 90 人
- ・マイスターが支援した博学連携への参加者 3,170 人  
令和 2 年度：既認定者 72 人 ・活動参加者数 延べ 132 人  
博学連携参加者数 539 人
- 令和元年度：既認定者 87 人 ・活動参加者数 延べ 581 人  
博学連携参加者数 4,427 人

#### (5) 民俗芸能普及

- ・愛知県民俗芸能大会は中止
- ・令和 2 年度、令和 3 年度コロナ禍により映像記録作成未実施

#### (6) 資料等貸出し等利用件数

- ・他館・機関への資料貸出し 12 件
- ・写真貸出し 61 件
- ・資料閲覧 44 件

#### (7) 郷土学習スクールサポート

- ・スクールサポート 303 校 24,063 人の小中学生が利用
- ・とよた歴史マイスターサポート活動 41 件 90 人実施 (3,170 人の小中学生が利用)

年度	資料館	遺跡見学	出前	貸出	総計
R3	11 校	54 校	140 校	98 校	303 校
	337 人	3,599 人	8,322 人	11,805 人	24,063 人

(比較)

年度	資料館	遺跡見学	出前	貸出	総計
R2	9 校	18 校	86 校	128 校	241 校
	283 人	658 人	4,675 人	14,565 人	20,181 人

#### (8) 施設等修理

- ・足助中馬館建具修繕・藤岡民俗資料館窓枠修繕・保見文化財倉庫雨漏り修繕
- ・猿投棒の手ふれあい広場体育館雨漏り修繕及び自動ドア修繕
- ・市指定文化財 千匹絵馬修理

#### (9) 博物館建設

- ・(仮称) 豊田市博物館新築工事 (令和 3 年 12 月～)
- ・(仮称) 豊田市博物館展示・収蔵環境等製作 (令和 3 年 12 月～)
- ・市民周知イベント出展等 (4 件 140 人)
- ・映像を活用した周知 5 回分 (ひまわりネットワーク、YouTube)  
はくぶつ Chan # シーズン 1
- \* SNS を活用した周知 インスタグラム開始
- ・標本あつめるプロジェクト延べ参加者 (16 回 142 人)

## ◆足助分室事業

### (1) 足助伝建地区の修理・修景事業

- ・伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催（6月、12月）
- ・修理・修景事業実施（2件）補助額 29,209千円
- ・現状変更行為許可（26件）

### (2) 足助の町並み活用

- ・足助伝統的建造物群保存地区保存会の活動（12回）
- ・「足助の町並」を活用した学習の実施  
足助小5回・参加者数66人、足助中1回・参加者数70人  
他地区小3校・参加者数201人（土橋小、前山小、新盛小）
- ・足助町並みサポーター活動（7回）  
町並みサポーター活動紹介展示（足助中馬館 令和3年10月～）

### (3) 足助伝統的建造物群保存地区防災対策整備

- ・防災部会開催（5回） \* 防災訓練はコロナの影響で中止

### (4) 町並み情報発信

- ・「足助伝建かわら版」発行（4回）、伝建かわら版編集委員会の開催（8回）
- ・足助伝建フェイスブックの更新（34回） \* フォロワー数672人（前年比-1人）

### (5) 旧鈴木家住宅の保存整備と活用

- ・旧鈴木家住宅公開（16回 30人） \* コロナ対策のため1回1組事前申込で実施
- ・旧鈴木家住宅修理記録映像製作
- ・旧鈴木家住宅保存修理・防災・活用工事実施に向けた文化庁現地指導（8月、3月）
- ・旧鈴木家住宅保存修理 第4期工事（令和元年度～3年度）  
第5期工事（令和2年度～4年度）
- ・旧鈴木家住宅防災対策工事 第1期工事（令和3年度～4年度）
- ・旧鈴木家住宅活用整備工事 第1期工事（令和2年度事業繰越）

### (6) 重伝建地区選定10周年事業

- ・実行委員会（11回）
- ・10周年報告書編集
- ・伝統的建造物現況調査（160棟）
- ・旧田口家での展示（6/20～） 8,436人

## ◆近代の産業とくらし発見館事業

### (1) 施設管理業務

- ・令和3年度入館者数 6,996人
- ・令和2年度入館者数 6,178人
- ・令和元年度入館者数 12,328人

### (2) 近代の産業とくらし発見館の運営

- ・企画展「まゆまつり2021 産業取締所から発見館へー建物と百年ー」  
（4/20～7/4） 1,090人
- ・企画展「綿から糸への物語ーとよた市域のガラ紡ー」

(10/22~2/27) 2,795 人

- ・ 展覧会ギャラリートーク 3回
- ・ ものづくり講座：「まゆこいのぼり」等
- ・ ものづくり体験：「素焼きコースターに絵を描こう」等
- ・ ぶらコロモ：年4回開催

(名木めぐり編、路地めぐり編、グルめぐり編、運氣アップ編)

## ◆市史編さん事業

### (1) 第10回配本(～11月)

『通史編近世』『通史編近代』『通史編現代』刊行

### (2) 専門委員会

- ・ 第58回(6/5)、第59回(9/4)、第60回(12/4)、第61回(3/5)

### (4) 部会の主な調査等

- ・ 近世部会 定例資料調査。『通史編近世』の編集。総集編項目検討。
- ・ 近代部会 定例資料調査。『通史編近代』の編集。総集編項目検討
- ・ 現代部会 『通史編現代』の編集。総集編項目検討。
- ・ 総集編部会 考古班／古代・中世班／民俗班／建築班／美術工芸典籍班／自然班単位で事典項目・図表・原稿作成中。

### (5) 市史編さん事業の周知・啓発

- ・ 『豊田市史研究』の刊行(第13号)600冊 1冊600円で販売
- ・ 「新修豊田市史だより」の刊行(第28号8月・第29号2月)各1,800部
- ・ 市史講座の開催(3回208人)

### (6) その他

- ・ 市史調査資料マイクロフィルムのデジタルデータ化等実施
- ・ 『新修豊田市史』既刊本掲載資料・写真、データ所在リスト作成

## ◆民芸館事業

### (1) 施設管理業務

- ・ 民芸館・陶芸資料館 入館者数 25,345人
- ・ 民芸の森 入館者数 19,974人
- ・ 平戸橋いこいの広場・平戸橋公園(指定管理) 利用者数 78,572人

### (2) 民芸館の運営

#### ① 展覧会開催事業

- ・ 企画展「植物文様の民芸」(第1・2民芸館)  
(～8/29) 令和3年度分 133日間 4,291人  
(関連企画 ギャラリートーク1回、染織体験、染付け体験、イメージ和菓子販売(茶室 勘桜亭での呈茶))
- ・ 豊田国際紙フォーラム「IAPMA展」(第1・2民芸館)  
(9/7～10/17) 3,402人  
豊田国際紙フォーラムの前期展覧会の会場の一つとして実施

- (同時開催 「日本の紙と世界の紙展」(第3民芸館) 2,196人)
- ・特別展「柳宗悦と民藝運動の作家たち」 \*日本民藝館からの巡回展  
(10/26~1/30) 4,538人  
(関連企画 ギャラリートーク2回、関連商品の販売)
- ・企画展「新収蔵品展」(第1民芸館)  
(2/8~5/29) 1,435人 ※3月末現在  
(関連企画 ギャラリートーク、絞り染め体験)  
同時開催「館蔵 手仕事の優品展」(第2民芸館) 1,719人
- ・第3民芸館B展示室展示開催事業(民芸館ギャラリー)  
「講座作品展」ほか7回



## ②講座開催事業(申込数)

- ・穴窯陶芸 122人
- ・ガス窯陶芸(土、日曜日) 105人
- ・絞り染め(初級、上級、藍染) 74人
- ・染織(初級、上級) 83人
- ・トンボ玉教室(初級~上級) 100人
- ・拳母木綿(初級、中級、上級) 64人
- ・1日体験教室 504人

桜まつり・穴窯陶芸(2回)・ガス窯陶芸(10回)・絞り染め(3回)・裂織(2回)・糸紡ぎ・機織り体験(2回)・トンボ玉(3回)

- ・民芸体験 91人
- ・穴窯陶芸(3回)、狛犬づくり、ハンカチ染体験、しめ縄作り
- ・団体利用 244人

ガス窯陶芸3件 絞り染め3件 呈茶2件、見学1件、勉強会1件

## ③資料等貸出し等利用件数

- ・外部施設等への資料貸出し 2件

## ④その他

- ・『豊田市民芸館だより』の刊行(第31・32号)

## (3) 民芸の森の運営

### ①企画運営会議の開催 3回

### ②NPO 法人民芸の森倶楽部の運営及び支援

- ・正会員13人、協力会員8人、賛助会員1人(R3年度)
- ・活動報告 運営委員会(定例会)10回  
連絡調整会議(民芸館との報告、意見交換間の場)12回

### ③民芸の森普及事業

- ・NPO 法人民芸の森倶楽部連携(協働)事業  
観月会(10/31)486人〔168人〕  
ボランティアガイド 定期、団体見学とも令和元年1月から休止
- ・体験ワークショップ「貼り絵でミニ鯉のぼりを作ろう」始め9回 694人
- ・講座等 ギャラリートーク 3回 28人
- ・森のアート展「紙絮一苦~紙のある暮らし~」始め3回



#### **(4) 伝統芸能開催事業**

- ・民俗芸能祭（4/3）会場：民芸の森（平戸橋桜まつりと同日開催）

#### **(5) 友の会事業（会員 54 名 令和 3 年 3 月 31 日現在）**

- ・友の会通信発行（3 回／112～115 号）

#### **(6) 地域連携事業**

- ・平戸橋桜まつり（4/3） \* 民俗芸能祭と同日開催 2,200 人
- ・桜ウィーク（3/20～4/4）スタンプラリー景品交換数 105 個
- ・新緑ウィーク（4/24～5/9）スタンプラリー景品交換数 23 個
- ・紅葉ウィーク（11/13～28）スタンプラリー景品交換数 90 個
- ・新春ウィーク（1/8～23）スタンプラリー景品交換数 84 個
- ・秋の勘八峡紅葉ウォーキング(11/20) 201 人

## 令和 3 年度文化財施設利用状況

施設名称	活動内容	3 年度 入館者数	2 年度 入館者数
豊田市旭郷土資料館	旭地区各地から寄贈いただいた約 1,500 点の資料を展示	42 人	54 人
豊田市足助資料館	大正 12 年に建てられた愛知県蚕業取締所足助支所を利用し、足助地区の歴史・民俗資料を展示	1,434 人	1,388 人
豊田市足助中馬館	大正元年建築の旧稲橋銀行足助支店社屋を利用し、商業・金融・交通・町並みなどの資料を展示	9,227 人	9,031 人
豊田市稲武郷土資料館	稲武地区の歴史・民俗資料を展示	4,906 人	4,843 人
豊田市歌舞伎伝承館	市内に伝わる歌舞伎に関連する資料及び小原郷土館より引き継いだ資料の展示、保存会による歌舞伎の公開練習等の実施	12,421 人	9,583 人
豊田市郷土資料館	歴史資料の収集・保存・展示、特別展・企画展の開催。歴史学習・体験講座の開催	10,550 人	8,692 人
喜楽亭	拳母下町の町屋建築の保存と伝承のため移築公開、貸出利用	11,536 人	4,360 人
豊田市近代の産業と暮らし発見館	大正 10 年建築の愛知県蚕業取締所第九支所を利用し、明治から昭和 34 年頃までの資料を展示	6,996 人	6,178 人
豊田市古瀬間城址公園	古瀬間城址を公開	—	—
豊田市七州城址公園	七州城址隅櫓と渡邊家書院・茶席又日亭の文化的活動への貸出利用	—	—
城跡公園足助城	足助城の高櫓・長屋・物見矢倉・厨（くりや）などの建物を復元・公開	14,115 人	15,142 人
豊田市曾根遺跡公園	曾根遺跡の竪穴建物などを露出展示し、移築された香九礼 1 号墳なども公開	—	—
豊田市藤岡民俗資料館	遺跡から発掘された石器類をはじめとして、藤岡地区の民俗資料や歴史資料などを保管・公開	1,203 人	753 人
豊田市棒の手会館	400 年の伝統をもつ民間武術棒の手に関する資料の展示と企画展示の開催	11,419 人	7,506 人
松平郷館	松平太郎左衛門家伝来の各種資料と松平郷に関する資料の公開展示	8,860 人	7,596 人
旧松本家長屋門	市指定文化財である旧松本家長屋門の公開展示（土・日曜日のみ）	1,638 人	441 人
民芸館・さなげ古窯本多記念館	民芸の基本理念である「衣・食・住」に関わる資料展示や講座等を開催	25,345 人	19,330 人
民芸の森	名誉市民・本多静雄氏旧邸。氏のコレクション展示やワークショップ・イベントなどを開催。	19,974 人	16,242 人
合 計		139,666 人	111,139 人

◆重点目標

【令和3年度】

(求める状態・成果)

【令和3年度末のミライのフツー】

- ・博物館整備が着実に進み、開館に向けた取組が市民とともに行われることで、博物館の目指す姿が広く市民に周知されている。

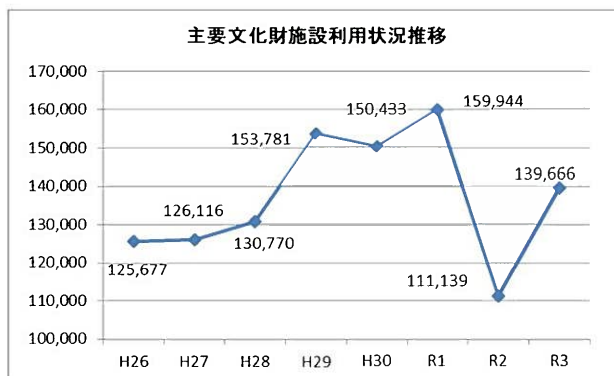
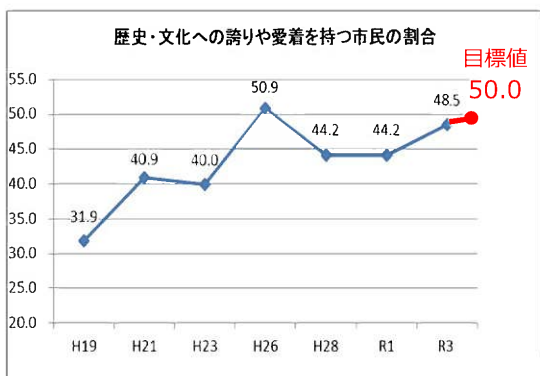
【令和6年度末のミライのフツー】

- ・(仮称)豊田市博物館が全面開館し、歴史文化基本構想などを拠りどころとして、本市の歴史・文化や自然が適切に継承され、その価値や魅力が市民とともに発信されている。
- ・「歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民の割合」【市民意識調査】の向上(目標値:50%以上)

※「ミライのフツー」とは、豊田市独自のキャッチフレーズで「めざす姿」という意味を象徴的に表している。令和2年度末のめざす姿及び、博物館が整備された後のめざす姿を設定し令和2年度の取組を進めてきた。

(取組成果)

- ・解体工事中に発見された産業廃棄物等の処分により、解体工事の工期が延長となったが、12月には建築工事はじめとする関連工事、委託を発注し1月以降着工することができた。またSNSやケーブルテレビによる番組放映で市民に整備内容等の周知を行うことができた。
- ・また、コロナ禍において適切に対策を講じながら、各施設での展覧会、講座、イベント等を通じて、歴史・文化・自然など本市の多様な価値や魅力を市民に伝える取組を継続して行うことができた。博物館で展開されるプロジェクトを試行的に実施し、オンラインを活用し新たな生活様式のなかでも利用できるコンテンツの提供をおこなった。
- ・その他、第8次総合計画等の指標である「主要文化財施設の総入館者数」は、繰り返される新型コロナウイルス感染拡大による活動制限もあったものの令和2年度より入館者が増えた施設が多かった。
- ・まとめとして、社会情勢の変化等の影響を受けながらも(仮称)豊田市博物館や足助地区の旧鈴木家住宅の整備に向け、設計、工事等を着実に進めることができた。また、スクールサポート事業や歴史マイスター活動の推進、各施設での展覧会、講座、イベント等を通じて本市の価値や魅力を市民等に伝える取組を進めることができた。



文化財課調べ

## 【令和4年度】

### (1) 目標「郷土の歴史・文化・自然への愛着や誇りを育むための事業推進」

#### (背景・経緯)

- ・多様な自然・文化的特性の源流となる本市の成り立ち、育まれてきた歴史・文化・自然を守り、育て、継承することが重要である。
- ・その価値を共有する取組を進め、ふるさとへの愛着や誇りを高めていく必要がある。

#### (求める状態・成果)

##### 【令和4年度末のミライのフツー】

- ・(仮称) 豊田市博物館整備が着実に進み、開館にむけた取組が市民とともに行われ、博物館の目指す姿が広く市民に周知されている。

##### 【令和6年度末のミライのフツー】

- ・開館後 1 年を経過した博物館を拠点に、市民とともに本市の歴史・文化・自然が継承され、価値や魅力が発信されている。
- ・「歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民の割合」【市民意識調査】の向上(目標値: 50%以上)。

### (2) 取組内容

#### ① (仮) 博物館開館に向けた取組の推進

- ・事業活動計画の作成と管理・運営方式の検討、方針決定
- ・開館後の展覧会開催に向けた調査、交渉
- ・博物館資料(自然・考古・歴史・民俗)の収集・整理
- ・博物館活動への理解と参加を促す取組の実施
- ・博物館本体工事、収蔵環境整備等の実施
- ・旧平岩家住宅等の移設に伴う事前準備および着手
- ・美術館との一体的な管理運営、連携事業の検討
- ・文化ゾーンの整備との連携・調整
- ・郷土資料館、発見館閉館に伴う準備調整、跡地利用に係る関係協議

#### ② 歴史文化を継承する市民の育成、活動支援

- ・博物館での学校利用手引き(案)作成と学校利用促進(郷土学習スクールサポート)
- ・博物館を場とした市民活動の整理と利用促進
- ・旧鈴木家住宅部分公開に向けた運営方法の検討、方針決定
- ・経年等により早急に対応等が必要な文化財の保存、継承への対応
- ・民芸の森での市民活動団体との共働事業の実施

#### ③ 歴史・文化財の保存と価値や魅力の発信の推進

- ・伝建地区選定 10 周年事業報告書作成、修理修景事業、旧鈴木家住宅整備実施と伝建地区の魅力発信
- ・「災害 50 年(仮)」【郷土資料館】、「藍染の絞り 片野元彦・かほりの仕事」、「郷土人形」【民芸館】、「まゆまつり 2022」【発見館】等展覧会の開催
- ・市史編さん事業成果の整理と活用手法の検討
- ・市史総集編の編集、市史講座の開催
- ・文化財調査と報告書等の作成
- ・話題性ある時宜にかなった文化財の魅力発信

## ◆主な事業計画

### (1) 文化財保護・活用および郷土資料館・近代の産業とくらし発見館事業

#### ①文化財の保存修理（補助事業）

拳母神社の山車（南町）螺鈿柱修理・猿投神社の木造毘沙門天立像修理・拳母神社の山車（竹生町）芯棒修理・拳母神社の山車（神明町）山車蔵修理・足助新町の山車台輪修理・足助西町の山車棚板修理・下川口のイチヨウ枝伐採

#### ②史跡・名勝・天然記念物の保護・整備等

- ・旧龍性院庭園支障木伐採（継続事業3年目 国庫補助事業）
- ・杉本の貞観スギ大枝伐採（倒木の危険防止）

#### ③埋蔵文化財の調査・整理

- ・報告書作成・刊行：北貝戸遺跡
- ・令和3年度調査概報

#### ④展覧会の開催

〔郷土資料館ほか〕

- ・企画展「端午の節句」（喜楽亭）（4/28～5/15）
- ・企画展「47 豪雨災害 50 年 土石の川も美田へと」（郷土資料館）（7/9～9/30）
- ・ポスター展 さよならの向こうへ～ポスターでプレイバック！資料館の55年～（郷土資料館）（9/3～9/30）

〔近代の産業とくらし発見館〕

- ・企画展：1回  
「発見館まゆまつり 2022 とよたの養蚕製糸遺産」（4/20～7/3）

#### ⑤閉館に向けた取組

- ・閉館に伴う例規改正（6月議会）
- ・既刊本の整理（割引価格での頒布、学術機関への無償提供）

### (2) 新博物館開館に向けた取組

〔別紙2〕参照

### (3) 足助分室事業

#### ①足助伝建地区の制度運用の促進と周知

- ・重伝建地区選定10周年事業報告書の刊行とデジタル配信による周知PR
- ・伝統的建造物現況調査結果の分析および活用検討
- ・足助伝建地区の修理修景補助事業の実施
- ・スクールサポート・町並み学習事業の実施
- ・旧田口家を利用した情報発信

#### ②旧鈴木家住宅保存整備推進と情報発信

- ・保存修理工事、防災対策工事、活用整備工事の実施
- ・修理現場公開の実施
- ・旧鈴木家住宅修理工事等映像記録作成と公開
- ・令和5年度部分公開に向けた準備

#### ③旧田口家等を活用した展示

- ・萬屋の商い—製茶とその販売—（6/22～当面の間）

## (4) 市史編さん室事業

### ①市史の刊行

令和5年6月配本予定『総集編』（事典・年表・図表）の原稿作成・編集を実施  
『地図でみる近代豊田』の刊行

### ②部会の主な調査・活動等

- ・総集編部会 : 事典原稿作成・年表編集・図表作成。  
(考古班／古代・中世班／近世班／近代班／現代班／民俗班／  
建築班／美術・工芸・典籍班／自然班ごとに活動)

### ③市史編さん事業の周知・啓発

- ・市史研究の刊行 1回 / 市史だよりの刊行 2回
- ・市史講座の開催 3回  
第4 1回～第4 3回 9月～12月に3回開催予定

### ④その他

- ・市史編さん事業成果の整理と活用手法の検討
- ・市史調査資料データの整理・確認。文化財課への移管準備

## (5) 民芸館事業

### ①民芸館の運営

#### ア 展覧会開催事業

- ・企画展「雑誌『工藝』の美」(6/7～8/28)
- ・特別展「藍染の絞り 片野元彦・かほりの仕事」(特別協力：日本民藝館) (9/13～12/4)  
同時開催「本多静雄コレクション展」
- ・特別展「全国郷土人形展(仮)」(12/17～5/7)
- ・第3民芸館A・B展示室企画展  
「暮らしのなかのガラス展」(5/31～7/31)  
「みんなの作品展」(8/7～8/28)  
「館蔵 藍染の絞り」(9/3～10/23)  
「第8回 伝承拳母木綿展」(10/29～11/27)  
「郷土玩具展 干支と卯」(12/3～2/5)  
「令和4年度民芸館講座作品展」(2/21～5/21)

#### イ 講座開催事業

- ・ガス窯陶芸、穴窯陶芸、絞り染め、染織、とんぼ玉の連続講座
- ・気軽に陶芸体験「初めてのやきものづくり」、夏休み窯焼き陶芸体験などの体験講座

### ②民芸の森の運営

- ・NPO 法人民芸の森倶楽部連携(協働)事業  
初夏、森の手ざわり(5月15日)、観月会(10月ごろ)、ボランティアガイド  
(予約団体のみ対象で再開予定)
- ・体験ワークショップ、講座、本多コレクション展示、森のアート展(随時)
- ・民芸の森企画運営会議(3回)、NPO 法人民芸の森倶楽部の運営及び支援

**③友の会事業の実施**

- ・友の会通信発行（3回）、穴窯講座優先枠、12月末閉会

**④民芸館広報普及活動**

- ・豊田市民芸館だより発行（2回）、豊田市民芸館講座案内発行
- ・関係機関他へチラシ・ポスター等配布（特別展・企画展、各種講座等）
- ・ホームページでの情報提供、各種講座等申込受付

**⑤地域連携事業**

- ・勘八峡紅葉ウォーキング（11月） その他随時調整のうえ実施予定

## 博物館整備に関わる事業進捗の報告について

### 1 建築等工事および展示・収蔵環境等製作について

- \*起工式 令和4年1月17日に実施済
- \*建築工事の進捗 基礎工事実施中
- \*展示・収蔵環境等製作の進捗 製作図作成中

### 2 旧平岩家住宅等の移築について

- \*旧平岩家住宅については、建築基準法の適用除外申請中
- \*今後、旧平岩家住宅・東土蔵について工事発注予定

### 3 シンボル・ロゴタイプ<sup>o</sup>の作成について

- \*作成者選定のためのプロポーザル実施中
- \*計9社エントリー

### 4 ミュージアムカフェ・ショップの運営に関わる企業対話（サウンディング）

- \*運営の担い手となり得る事業者から、事業実施の手法や要望についてヒアリング
- \*計7社からヒアリング予定

### 5 市民周知の取組み

- \*映像を活用した周知 5回分（ひまわりネットワーク、YouTube）  
はくぶつChan#シーズン2
- \*SNSを活用した周知 インスタグラム開始
- \*令和4年度は市内開催イベントに参加。

### 6 博学連携の取組み

- \*スクールサポート、博学連携委員会を通してのプログラムの改善
- \*令和5年度に博物館での学校利用手引きを作成予定



## 「旭歌舞伎保存会」 伝統的郷土芸能認定取消について

平成 20 年 5 月 7 日付で伝統的郷土芸能の認定をした「旭歌舞伎保存会」については、令和 4 年 4 月 17 日をもって解散したため、「豊田市伝統的郷土芸能保存維持事業等補助金交付団体認定要項」第 5 条第 3 項の規定により同認定を取消した。

※同認定については、「豊田市伝統的郷土芸能保存維持事業等補助金交付団体認定要項」第 4 条第 3 項の規定により、文化財保護審議会の意見を聴いたものである。

## 旭歌舞伎

明治中期から地歌舞伎として旭地区で行われていた。

## 保存会

昭和 55 年「旭歌舞伎保存会」発足  
令和 4 年 4 月 17 日（日）解散

## 活 動

昭和 60 年素人歌舞伎フェスティバル愛知県大会  
平成 7 年ふるさと歌舞伎大集合  
平成 8 年新川町（姉妹提携）公演  
平成 12 年小原歌舞伎五月公演  
平成 14 年中金町岩倉神社公演  
平成 19 年農村歌舞伎合同公演  
平成 23 年市制 60 周年記念民俗芸能大会農村歌舞伎公演  
平成 27 年新豊田市誕生 10 周年記念事業 第 26 回全国地芝居サミット  
in とよた  
平成 29 年歌舞伎伝承館こけら落とし公演  
※保存会発足以来「あさひまつり芸能祭」で公演を続けていた。

## 解散理由

高齢化による会員不足

## 伝統的郷土芸能補助金交付団体認定要項

### (趣旨)

第1 この要項は豊田市文化財保存事業費補助金交付要綱（以下「要綱」という。）別表に規定する補助事業者の認定に関して必要な事項を定める。

### (定義)

第2 補助事業者は、次の条件を満たす伝統的郷土芸能を継承し、次に規定する団体（以下「郷土芸能団体」という。）とする。

- (1) 昭和20年以前から豊田市域で伝承されてきた郷土芸能のうち、第3に定める芸能を継承する団体
- (2) 豊田市民を主体に5名以上で組織し、規約を有し、由来及び保存体制が明確である団体

### (対象)

第3 伝統的郷土芸能の対象は次のとおりとする。

- ① 神楽
- ② 祭り囃子
- ③ 万歳
- ④ 農村歌舞伎
- ⑤ その他、教育委員会が認めるもの

2 無形民俗文化財に指定されたものは、本要項においては伝統的郷土芸能と区別する。

### (認定)

第4 補助金の交付を受けようとする郷土芸能団体は、豊田市の認定を受けなければならない。

- 2 豊田市は前項の認定にあたっては豊田市文化財保護審議会の意見を聴くものとする。
- 3 第1項の認定は第6に規定する認定の取消しが行われるまで、効力を有する。

### (申請)

第5 第4の認定を受けようとする郷土芸能団体は次の書類を添付し市長に提出しなければならない。

- ① 認定申請書（様式1）
- ② 団体調書（様式2）
- ③ 名簿（様式3）
- ④ 規約
- ⑤ その他参考資料

### (認定の取消し)

第6 郷土芸能団体は、第2に規定する条件を満たすことができなくなった場合は、豊田市に認定の取消を届け出なければならない。

2 郷土芸能団体の解散及び消滅等により前項の届け出がされない場合は、豊田市は、その調書を作成し、郷土芸能団体の認定を取り消すものとする。

## 令和3年度 資料の購入について

【郷土資料館】

	作品名	作者／年代	点数	購入価格
1	『小学図解人身問対』 ※斎木貴彦関係資料	斎木貴彦／原著は明治10年(本資料は原著の復刻版)	1点	4,000円
2	『号堂自伝』 ※斎木貴彦関係資料	尾崎行雄／昭和12年	1点	2,390円
3	『杉浦投手物語』 ※杉浦忠関係資料	笹山しげる／昭和34年	1点	698円
4	杉浦忠監督就任ホークスヒストリーカード ※杉浦忠関係資料	ソフトバンクホークス／平成30年	1点	284円
5	『日本書紀』 ※岸田吟香関係資料	参考井出版人岸田吟香／明治16年	1点	7,800円
6	ライオン歯磨抽せん券 ※杉浦忠関係資料	ライオン歯磨株式会社／昭和35年	1点	1,500円
7	『養蚕仕法説諭録』	愛知県庁／明治5年	1点	8,520円
8	天保八酉年浪花施行未代鑑 上編・中編・下編	大坂高麗橋通三丁目河内屋得兵衛／天保12年	1点	16,698円
9	杉浦忠メンコ ※杉浦忠関係資料	不明／昭和35年頃	1点	1,500円
10	杉浦忠野球カード ※杉浦忠関係資料	不明／昭和35年頃	1点	1,064円
11	岸田吟香書掛物 ※岸田吟香関係資料	岸田吟香／明治13年(1880)	1点	17,936円
12	『日本古義』 ※安藤早太郎関係資料	高木正朝／天保4年(1833)	1点	86,880円
13	岸田吟香三行書幅 ※岸田吟香関係資料	岸田吟香／明治期	1点	56,000円
14	茶湯献立指南 全5冊揃	遠藤元閑／大正2年(原著は元禄9年)	1点	45,000円

15	『優良茶園の造成手引』	愛知県拳母事務所／ 昭和 31 年	1 点	2, 5 0 0 円
16	『花ひらく拳母が丘』	トヨタ自動車工業株 式会社／昭和 32 年 頃	1 点	6, 0 0 0 円
17	拳母 5 万分 1 地形図	内務省地理調査所／ 昭和 21 年	1 点	3, 5 2 0 円
18	『三河のたま』	板垣義成／明治 26 年	1 点	2, 9 8 0 円
19	『少女倶楽部』第 21 巻第 2、4 ～8、11 号	大日本雄弁会講談社 ／昭和 18 年	7 点	3 5, 0 0 0 円
20	『赭土』第 31～34、36～38、 41 号	飯沼勘一編／昭和 24～25 年	8 点	4, 0 0 0 円
21	『桜井之書 坤』	嘉永 7 年写	1 点	1 2, 0 0 0 円
22	乍恐申上御訴訟	矢畑五郎右衛門／江 戸時代	1 点	3 0, 0 0 0 円
23	『若き日の代償』	猿投次郎／大正 12 ～昭和 25 年	1 点	1 2, 0 0 0 円
24	第四農耕勤労隊関係資料	昭和 20 年	1 点	3 0, 0 0 0 円
25	三好村原田重助旧蔵資料	明治 22～25 年	1 点	3 5, 0 0 0 円
26	『天使の相棒 杉浦忠と長嶋茂 雄』サイン本 ※杉浦忠関係資料	ねじめ正一／平成 15 年	1 点	1, 6 0 0 円
27	『奈良大仏前絵図屋筒井家刻成 絵図集成』	奈良大学総合研究所 ／平成 14 年	1 点	3, 8 0 0 円
合 計			40 点	4 2 8, 6 7 0 円

【民芸館】

	作品名	作者・購入元／年代等	点数	購入価格
1	吹きガラス大皿	石川昌浩／2021 年度日本民藝館展 日本民藝館賞	1点	33,000円
2	三河拳母手紡木綿着尺	服部節子／2021 年度日本民藝館展 奨励賞	1点	176,000円
合 計			2点	209,000円

(参考)

【郷土資料館】



- 13 岸田吟香三行書幅 ※岸田吟香関係資料)  
・岸田吟香  
・明治期

- 19 『少女倶楽部』第21巻第2、4~8、11号  
・大日本雄弁会講談社  
・昭和18年

【民芸館】



- 1 吹き大皿ガラス  
・石川昌浩(岡山県)  
・2021年度日本民藝館展 日本民藝館賞



- 2 三河拳母手紡木綿着尺  
・服部節子(愛知県/民芸館拳母木綿講座受講生)  
・2021年度日本民藝館展 奨励賞